

「読書教育の取り組みについて」－湧心館高校図書館からの報告

○よく利用されている本校図書館～ 今年1人あたりの貸出が22冊以上。居場所そして利用する場へ

本校図書館は全日制・定時制・通信制3課程の生徒・職員が共に利用する図書館です。このような学校図書館は県内では本校以外にありません。また通信制生徒のスクーリング時や定時制生徒の夜間利用など様々な意味で、公共図書館に準ずるような15歳から70歳前後までの生徒・職員を対象とした図書館と云えるでしょう。

全日制的「朝の読書」は、昨年度まで年2回合計4週間実施していましたが、今年度は毎日の日課に組み入れ通年実施となりました。本年の本校教育の重点目標の一つとして「図書館教育を充実させる」を掲げ、図書館内の各図書コーナーの充実や図書館オリエンテーションの刷新等に取り組んだ一年でした。

過去の本校全日制生徒の貸出利用状況を見ると、もともと1人あたり10冊を超えることが多く、これまでの歴史の中でも、比較的良好に利用されていた図書館であることがわかります（高校の図書館では生徒1人あたりの貸出が10冊を超えると、図書館の本がよく利用されていると実感します）。下表に1月末調べで、ここ3年間の貸出統計を比較してみました。特にこの2年間貸出の伸びが著しく、特に今年度はよく利用されています。定時制通信制生徒の利用も増えてきています。

本校図書館貸出統計(全日制)

単位＝冊

1月末統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計	1人あたり貸出
今年合計	1337	1564	1462	1468	123	900	709	537	646	492	9,238	22.3
昨年合計	655	682	969	1054	274	345	695	536	582	392	6,184	14.6
一昨年合計	316	391	640	476		409	413	389	273	219	3,526	8.2

全校生徒当初の414人で算出

0冊の生徒 96人 =23.2%(昨年32%)

借出し者 316人 =76%(昨年68%)



(エアコンが入る時期も図書館のドアは全開です。)



(図書館の入口 図書館内側からみるとこんな風に見えます。)



(図書館の入口前。定期的にディスプレイを変更)



(クリスマスのころはクリスマスブックスコーナーで絵本を読むと心も暖かくなります。)

○ 本と生徒を結びつけるには？ ～二つの工夫

☆ 新着図書コーナーの充実 新着図書コーナーを入口付近に設置し、利用しやすく工夫した結果、生徒が新着図書コーナーに立ち寄るようになりました。教育会館から寄贈いただいた図書カード10万円で117冊もの図書を新たに購入することができて、新着図書コーナーはますます利用が増えました。生徒の読みたい気持ちを受けとめ、リクエストに応えることや読んで欲しい本を目につく所に置くことが図書館の活発な利用につながりました。

(新着図書コーナーはにぎやかに・・・)



☆ 図書委員会は読書活動推進役 各クラスから選ばれた生徒図書委員会は本が好きな生徒、ボランティア活動に関心を持つ生徒が多く、その気持ちを引き出し活動を実践することが、読書活動の推進にもつながります。文化祭では昨年と今年、図書館内での研究発表展示の他に、体育館で「詩の朗読と写真のコラボ」「絵本ライブ」、図書館入り口で「ストリート紙芝居」などに取り組みました。また、近隣の保育園に読み聞かせボランティアとして、年4回訪問しました。

(10月29、30日文化祭 図書委員会案内板)

(文化祭 ユニセフのパネルも展示しました。)



(文化祭 図書館前ロビーでストリート紙芝居実演中)

(園児が図書委員の読み聞かせに聞き入っています。)